

BUSINESS
ビジネスIT業界の
動向を学び
今を知る

2018年の企業ITにとつての最優先課題は、BI(45%)、機械学習(ML)・人工知能(AI)(29%)、ビッグデータ(28%)と、すべてデータに軸足を置いていました。一方、ブロックチェーンや生体認証といった新興技術については低い優先順位でした。この最終回では、2019年のITトレンドに注目しながら、どのように社内ITを守りから攻めに転

換で臨むかを考えます。

①クラウド・ファースト

2019年はクラウドがより安全であると証明され、6割の企業でITの大半がクラウドにのると言われています。政府の情報システム(情シス)でさえ、「クラウド・バイ・デフォルト原則」を掲げ、クラウド利用を積極的にすすめています。米CIAや日本の大手銀行までもがパブリッククラウドの最大手ア

マゾンAWSを採用したことで明らかのように、クラウドのコンプライアンスは完全に遅れを取り戻しました。クラウドのプラットフォームは、AWSとマイクロソフトAzureがリードし、サービスではメールやドキュメント作成、情報共有などを基盤としたマイクロソフトの「Office 365」や社内外でファイル共有できる「Box」「Dropbox」などが広く普及しています。

⑦ 守りから「攻めのIT」へ

クラウドの種類は、パブリック、プライベート、ハイブリッドと要件に応じて選択でき、多くの企業でクラウド利用が当たり前になり、クラウドの課題はそもそも業務フロー改善と、有効活用の範囲拡大へとシフトしています。

② ITセキュリティ

2019年も積極的な保護と防御を備えた安全なバックアップが最優先です。重要なデータは二重・三重バックアップを取ることで、OSやウイルス・ランサムウェア対策ソフト等の更新・対応状況を集中管理すること、不正侵入やビジネスメール詐欺を防ぐために二段階認証や感染防止にも役立つメールフィルタリングの導入、危険なWebサイトへのアクセスを遮断するWebフィルタリングの

導入、標的型攻撃を防ぐUTM(統合脅威管理)の導入、不審な電子メールやリンク・添付ファイルに十分注意するよう社内喚起・教育を定期的に実施すること、を推進する企業が増えています。

③ 5Gサービス

2019年までに米中日韓などで第5世代移動通信システム(5G)の導入が前倒しで始まるため、5G関連の設備投資が盛り上がっています。5Gでは、大容量通信が大幅に高速化します。高精細画像・動画のやり取りが大幅に高速化され、多数の端末を同時接続することが可能になり、遅延が少なくなり、これに伴い、スマートフォンを介したサービスは飛躍的に拡大するでしょう。さらに、医療・ロボットなど幅広い分野に活用が広がると考えられます。ラップトップPCにも5Gが標準搭載され、IoT家電が飛躍的に浸透するでしょう。

④ フィンテック

Venmoなどのスマホ送金・決済や投資運用などのFinTechと呼ばれる金融ITサービスは、実店舗や企業へ広く浸透しました。零細企業でも、クラウドファンディングやAmazonから手軽に直接融資を受けられる時代になりました。ビットコインなどの暗号通貨をはじめとしたブロックチェーン技術の活用は、より注目を集めるでしょう。企業会計では、Dynamics 365などのクラウド型会計ソフトへの移行が加速し、経費精算や勤怠管理のクラウド化も大幅に普及する見込みです。

2019年にITの役割は、日々のビジネスや生活の根幹を支えるライフレインとして、より重要な位置づけになることは確実です。しかし、企業の3割が「ひとり情シス」または情シス不在なのも事実です。そのような状況でも守りのITを攻めに転換するには、信頼できるITベンダと中長期IT予算を策定し、変動する状況や技術を定期的に共有することで、自社IT課題の優先順位を常に明確化することが肝要です。最後にこれまで7回にわたりに「愛読ありがとつございまして。どうぞ良いお年をお迎えください。」



野崎 友徳
SYSKOM USA INC.
sales@syskomusa.com
212-607-4800

Kakimoto&Nagashima

A Division of SingerLewak

Over 300 multi-national professionals
here to serve you!

- ・ 監査・レビュー (上場・非上場対応可)
- ・ 米国進出日系企業向け税務サービス
 - ・ 駐在員向け税務サービス
- ・ 会計・税務アウトソーシング
- ・ ビジネススタートアップ支援
- ・ 財務・税務デューデリジェンス
- ・ コーポレートガバナンス構築支援サービス

310.320.2700 | WWW.SINGERLEWAK.COM
21241 S. WESTERN AVE. SUITE 200, TORRANCE CA 90501

ORANGE COUNTY LOS ANGELES WOODLAND HILLS MONTEREY PARK TORRANCE
RIVERSIDE POMONA SAN FRANCISCO SILICON VALLEY DENVER, CO

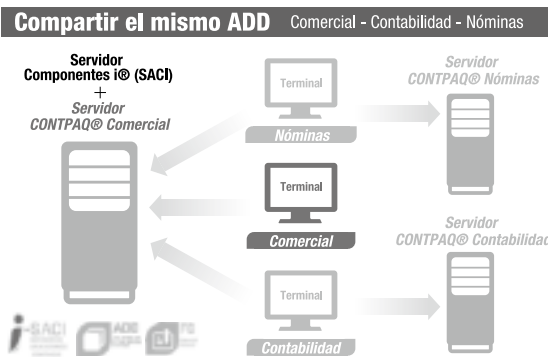
CONTPAQi
会計システムパッケージ

CONTPAQi
DISTRIBUIDOR

- ◆ Computación en Acción が扱う会計ソフトウェアです。SAT (メキシコ国税局) に認可
- ◆ Contabilidad (会計管理)、Nómina (給与管理)、Factura Electronica (電子インボイス)
- ◆ メキシコ国内において 600,000 以上のユーザー実績

TAXとFactura
(ファクトウラ)

2015年から商取引におけるインボイスを発行した際は、SATに対してFactura Electronica(電子インボイス)の提出が毎月義務づけられています。企業会計を報告する際に、Facturaと報告内容が照合され、TAXの控除など申告が正式に認められます。CONTPAQiはFacturaの生成機能を持ち、SATへ提出するまでのプロセスが簡易に行えます。



取扱い製品

会計管理
CONTPAQi Contabilidad
CONTPAQi Bancos
CONTPAQi Nóminas

商取引管理
CONTPAQi Comercial
CONTPAQi Factura Electrónica
CONTPAQi Punto de Venta

Webサービス

CONTPAQi CFDI Facturación en línea+
CONTPAQi Business intelligence+
CONTPAQi XML en Línea+
CONTPAQi CDFI Nóminas+

CONTPAQi



日本ビジネスシステムズ・メキシコ法人は CONTPAQi の正規取扱パートナーです。

日本ビジネスシステムズ株式会社(本社虎ノ門)は2014年6月からメキシコにおいて日系企業様へのITサービスを開始致しました。米国法人 JBS USA Inc. と連動し、お客様の北米におけるIT環境構築、運用をサポートして参ります。

会計ソフトウェア・ERP コンサルテーション (CONTPAQi)
ERP システムに関するコンサルティング、導入計画、導入支援、実装、および運用サポート

CONTPAQi および、メキシコにおける会計パッケージ導入のご相談は下記までご連絡ください。
Sales.mx@jbs.com / Phone:(310)328-7200 / www.jbs.com

JBS